

## 2017 年度 事業計画

### 1. 事業の概要について

#### (1) 顕彰事業（京都ヒューマン賞）

- ・地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野で社会貢献活動をされ、顕著な功績をあげた京都と関わりのある（京都在住、活動の拠点や原点在京都にある等）個人や団体・グループを顕彰する。
- ・2017年度の京都ヒューマン賞の贈呈式および懇親パーティーは、2017年6月1日（木）11:00～13:00 リーガロイヤルホテル京都にて開催する。
- ・部門賞のあり方を見直し、2018年度表彰からは個人を対象とする「ヒューマン大賞」、団体・グループを対象とする「ヒューマンかざぐるま賞」という部門賞を設けず、個人および団体・グループともに「京都ヒューマン賞」に統一して顕彰する。よって、2017年9月から11月までの授賞候補者の募集にあたっては、この旨を告知して行う。

#### (2) 一般助成事業

- ・当法人の事業目的に合致し、地域の社会福祉、青少年の健全育成、男女共同参画の推進、生活環境・地球環境の整備等の分野において、原則として京都府内で社会貢献活動を行う個人や団体・グループに対して助成を行う。
- ・2017年度予算は前年度実績(見込み)並みの670万円とする。
- ・助成は、外部有識者による助成適正評価、専務理事の同意意見、理事長の決裁により実施する。

#### (3) 広報・宣伝活動

- ・従来からのホームページ上での告知、マスコミ発表、Facebook や京都府のメーリングリストによる告知、オムロン基金の紹介チラシの配布を継続する。
- ・京都府内の行政、中間支援組織、活動団体および京都市まちづくりアドバイザー等と連携してオムロン基金の事業説明会を開催し、京都ヒューマン賞への応募および助成事業の申請件数、助成金額の増加を図る。

### 2. 法人運営費用について

#### (1) 収支計画について

##### (収入)

- ・基本財産の運用益は、489万円を見込む。
- ・オムロン株式会社株式20万株の配当金として、6月末および12月初めにそれぞれ680万円ずつ、年間合計1,360万円の収入を見込む。
- ・オムロン株式会社から500万円の寄付金を見込む。（公益目的事業会計費と法人会計費として）
- ・この結果、経常収益の見込みは、前年度予算より約9万円減、前年度(見込み)比約32万円減の約2,350万円を見込む。

**(支出)**

- ・ 顕彰事業費（懸賞費用、式典費用等）は、前年度予算比 120 万円減、前年度(見込み)比 100 万円減の 760 万円とする。
- ・ 助成事業費は、前年度予算比 80 万円減の 670 万円とする。
- ・ 公益目的事業の管理費は、前年度予算比約 8 万円増、前年度(見込み)比約 2 万円減の約 240 万円とする。
- ・ この結果、公益目的事業費の合計は、前年度予算比約 191 万円減、前年度(見込み)比 100 万円減の 1,670 万円とする。収支相償については、約 14 万円の赤字となる見込み。
- ・ 法人会計の管理費は、前年度予算比約 2 万円増、前年度(見込み)比ほぼ同額の約 326 万円とする。
- ・ この結果、経常費用の合計は、前年度予算比約 190 万円減、前年度(見込み)比 100 万円減の 1,997 万円とする。

**(2) 資金調達および設備投資**

当期間において、資金調達のための借入れや重要な設備投資（除却又は売却を含む）の予定はありません。